

昔と変わらぬ 樽前の良さ

父が教員として働いていたので、小学校3年生まで樽前小に通っていました。その頃からものづくりが好きで、周りの枝とか石で工作をしていました。少人数の学校だったので、学年とか関係なくコミュニケーションを取れるようになりまして。色々な経験が、今の自分に生きていけると感じます。

数年前から、樽前小のみんなに、樽前の自然やアートに目を向けてもらえるような授業をやらせてもらっています。子どもたちの遊び方とか、上級生の面倒見の良さとか、良いところは僕らの頃と変わってないですね。

工房を構えるために樽前に戻って来たとき、20年以上も経つのに、「レオちゃん、おかえり」って、地域の人たちがすごく喜んでくれたんです。

ね。そんなつながりを作れるのが、樽前小ならではの良さだと思います。

藤沢 レオ さん
活動拠点として、幼少期を樽前で過ごし、O法人「樽前arty+」表業や展示などを行い、とアートを結びつける。



地域みんなで 子どもを育てる

一人ひとりの児童がいきいきとした姿を見せる樽前小学校。その教育は、学校と家庭、そして地域の協力によって支えられています。

学校を 地域で守る

樽前には、直接の保護者以外にも、地域の学校を大切にしたいという思いから、PTAの賛助会員として登録している人たちがいます。学校行事の手伝いや、花壇やグラウンドの整備などさまざまな形で学校運営を支援しています。



▲きれいに咲く正門前の花壇

体験で 地域を伝える

樽前小学校の特徴である多彩な体験学習も、地域の協力が無くては成り立ちません。

一人一坪の菜園で好きな作物を育てる菜園学習では、樽前の高齢者クラブの「畑の先生」たちから、畑作りについて学びます。椎茸の駒打ちは地元農家の方の手ほどきを受け、収穫したものは地域の



▲収穫した椎茸の販売体験

野菜市で、児童自ら販売を体験します。

学校行事に 地域が参加する

運動会、学芸会の大きな行事は、学校だけでなく、地域全体のイベントです。例えば、運動会は「樽前連合運動会」として開催され、児童とその家族だけでなく、卒業生や地域住民、近隣の高齢者施設や保育園など300人近くが参加し、大いに盛り上がります。



▲地域みんなが楽しむ運動会

学校創立以来、90年以上にわたり子どもを見守ってきた樽前地区。このような献身的な協力には、「樽前全体で子どもを育てる」という地域の考え方がありました。

みんなの思い「子どものため」

学びの場であると同時に、地域にとって大切な交流拠点である樽前小学校。そこに関わるすべての人が、「子どもたちのために一番良いことを」という気持ちで活動しています。その強い思いが、今日も元気に校庭を走り回る児童たちの背中を押しています。

学校と家庭と地域、そして樽前にあふれる大自然が、樽前小学校の子どもたちを育ててくれる先生です。

樽前小に



みんなおいでよ!

さまざまな思いに支えられ、まっすぐのびのびと成長する「樽前っ子」。今の社会に求められている、『地域への愛着』や『人とのつながり』を育む、そんな教育の形が樽前小学校にはあります。

自然あふれる樽前で、子どもを学ばせてみませんか？

平成27年度の児童募集は11月です。学校説明会、授業公開、見学会などを開催しますので、詳細は広報とまこまい11月号、またはHPをご覧ください。